

成果指標				
成果指標	口座払+別途払件数/支出命令証憑総件数			
指標設定の考え方	指定した支払日に確実に振り込まれる。窓口払を極力なくす方向で各課への移			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標26年度
目標	95.4%	95.6%	95.7%	0
実績	95.6%	95.6%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	団体の規模が大きくなると、窓口支払と口座支払が混在した場合には、担当課の事務処理が複雑になるため、検討が必要になる。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	口座振替の推進を図ってまいりましたが、団体の意向、現金払いの利点もあり、窓口支払いを希望される件数は依然として減少しない状況である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	